

今月号は、湯尾児童館の辻圭子 さんです。



湯尾児童館
児童厚生員

辻 圭子 さん

今庄の杉谷で生まれ育ち、保育士の資格を取得後、今庄なないろこども園に勤務してからカウンセラーに興味を持ち、セラピストから本格的に学ぶために退職。子どもや子育て中の親への心のケアや癒しについて学ぶなかで、女性が女性らしく輝いてほしいと願うように。そんな頃、南越前町社会福祉協議会で児童厚生員の募集があり、保育士としての知識を活かし、子ども達とのふれあいや人との関わりを大切にしたいとの想いから応募されました。今庄児童館で2年間、昨年4月からは現在の湯尾児童館で勤務されています。

児童館では、午前中は地域の方のために開放し、午後は学校帰りの児童を預かっています。畑作りや行事において、湯尾地区の方々のサポート力の強さがありがたいと感じていらっしゃいます。

児童館で楽しく過ごす子ども達の姿を見たり、学校でできたことなどを話しに来てくれたりする時がやりがいを感じる時。都会への憧れはあったものの、家族と暮らせて、地域のこともわかる地元が一番という辻さん。最近、児童と一緒に「大人の塗り絵」を始め、夢中になってコツコツ仕上げています。ものづくりの楽しさと達成感を味わっている児童がまた、辻さんの喜びに繋がります。

趣味で始めた華道は20年近く続き、花の命を愛で美しく表現する伝統と作法に加え、カウンセラーとしての知識を活かしながら、女性のための心のケアに努められています。

町の子どもの数が減り、部活などの選択肢が少なくなっていることは寂しい、子ども達と思いつき遊べる公園など憩いの場ができ、地域が活性化し、ここに住んで良かったと思える町になってほしい、そしてまた、児童館が地域の憩いの場となればと望まれています。

流動創生

【2/29 (土) 開催 大阪国際大学 早川公准教授登壇】

クロス オーバー

CrossOver まちとわたしをほどいてむすぶ

参加者
募 集



(大阪国際大学 早川公准教授)

2019年3月まで仁愛大学で教鞭をとられていた早川先生とともに、これまでの地域での活動を「研究者視点」で振り返ります。つくば市のまちづくりに参画しながら行った研究の事例とともに、「本当に必要なものは何か」、「そのために何をするのか」、「わたし(自分事)」の視点でまちづくりを探索します。

日 時 2月29日(土) 午後1時～午後4時(午後0時45分受付開始)

場 所 南条地区公民館 2階ホール

概 要 オープニング(流動創生事業説明など) 13:00～13:30

ゲスト講演 (早川公准教授) 13:30～14:20

(

- 早川先生の研究手法—文化人類学とは
- つくば市研究事例の紹介
- 文化人類学から見るまちづくりの意義

)

ワークショップ 14:30～16:00

参加費 無料

申込締切 2月28日(金) 午後5時まで

■ 申込み・問合せ 観光まちづくり課 ☎ 0778-47-8013 ✉ kanmachi@town.minamiechizen.lg.jp

【退任のご挨拶】

地域おこし協力隊の門田和也隊員は、1月31日をもって約3年間の活動を終了しました。移住促進や温泉施設連携の取組にあたっては、多くのご理解とご協力をいただきました。

ご支援ありがとうございました。